

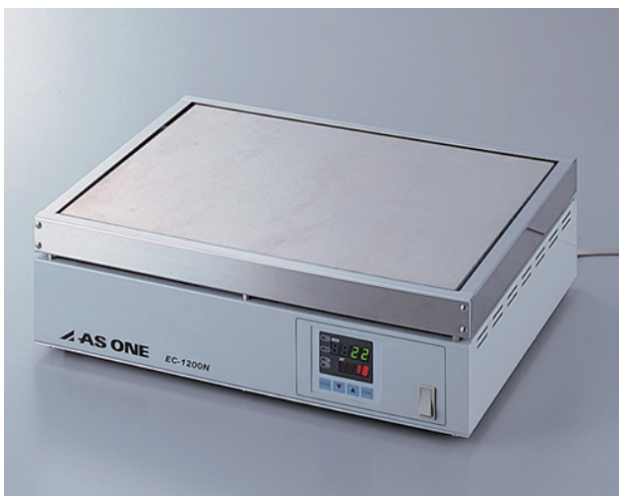
取扱説明書

Instruction Manual

ECホットプレート

型番（品番）

EC-1200N（1-4115-11）



最初にお読みください

＜安全上のご注意＞	2
＜設置組立時のお願い＞	5
＜使用上のお願い＞	6

ご使用の前に

＜製品概要＞	7
＜各部の名称とはたらき＞	7

使いかた

＜操作方法＞	8
◆運転準備	8
◆操作方法	8
◆パラメータ変更	16

お手入れと修理点検

＜お手入れ・メンテナンス＞	17
＜修理点検＞	17

困ったとき

＜トラブルの原因と対処＞	18
--------------	----

製品仕様と保証について

＜製品仕様＞	19
＜廃棄方法＞	19
＜製品保証＞	20

このたびは、アズワン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

製品のご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
お読みになったあとは、お手元においてご使用ください。

製品の譲渡・貸与時は、この取扱説明書を本体の目立つところに添付して、製品と共にお引き渡しください。

最初にお読みください

＜安全上のご注意＞

製品のご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、製品を安全に正しくお使いください。誤った使い方に起因する危害や損害を防止するための重要な事項について記載しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように分けて説明しています。

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容です。

●本書や本体に使われている図記号の意味は、次の通りです。

	「必ず行うこと」を示しています。※
	「してはいけないこと」を示しています。※
	「注意すること」を示しています。※

※ 本書では、おもな使用場面ごとに分類しています。

	接触禁止を示しています。
	感電注意を示しています。
	安全アース端子付製品は、アース線に接続することを示しています。
	分解・改造禁止を示しています。
	指を挟まないよう注意を示しています。
	機器の転倒注意を示しています。
	高温になる部分、接触注意を示しています。
	爆発注意を示しています。
	回転物注意を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	火気禁止を示しています。
	濡れた手での接触禁止を示しています。
	機器の水濡れ禁止を示しています。
	発火注意を示しています。



警告

製品を安全に正しくお使いいただくために
必ず、お守りください



設置

設置の際は必ず定格電源電圧、周波数、容量に合った単独のコンセントを使用してください。分岐ソケットやテーブルタップは使用しないでください。

火災・感電の原因になります。 ➡ 使用電源 AC 100V

感電防止のため、必ずアース線を接地してください（アース端子付きコンセントを使用してください）。



操作運転

製品本体に異常が発生したときは、ただちに使用を中止して、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店、または修理窓口へ連絡してください。

運転中、試料が飛び散ることがあります。操作するときは、安全メガネや保護手袋など、適切な保護具を着用してください。

有機溶剤などの引火性物質をプレートに載せないでください。また、これらの物質を本製品付近に放置しないでください。

引火・爆発するおそれがあり危険です。

➡ 例えば、おもな爆発性の物質としては、硝酸エステル、ニトロ化合物等、引火性の物質としては、過酸化塩類、無機過酸化物、硝酸塩類、有機溶剤等があります。

熱交換口や本製品の穴に針金等を差し込まないでください。

感電の原因になります。

運転中や運転直後は、高温になる部分があります。本製品のプレートや外郭に手を触れないでください。

設定温度によって高温になることがあります、火傷を負うおそれがあります。

➡ 本製品のプレート温度は、最高300℃近くまで上昇します。



操作運転

本来の用途以外に使用しないでください。本製品は研究用途向けの商品です。絶対に調理には使わないでください（研究用途のみに限ります）。

思わぬ事故の原因になります。

濡れた手で、電源プラグに触れたり、スイッチ操作を行わないでください。

感電の原因になります。

爆発性・引火性のあるガス雰囲気中で本製品を使用しないでください。

スイッチの入り切りのときに火花が発生して、爆発・火災の原因になります。

➡ 本製品は、防爆仕様ではありません。

本製品の改造や分解をしないでください。

火災・感電の原因になります。

➡ 改造・分解が行われた場合は、保証の対象外となり、弊社は一切の責任を負いかねます。

 警告 製品を安全に正しくお使いいただくために必ず、お守りください	
 操作運転	本製品はマイクロコンピュータを使用しています。電氣的なノイズの多い場所では温度調節器が暴走して制御不能となり、大きな事故や故障の原因になります。
 お手入れと点検	本製品のお手入れの際、周囲に付着した薬品、蒸気や粉じんを吸い込まないでください。 健康を害するおそれがあります。

 注意 製品を安全に正しくお使いいただくために必ず、お守りください	
 設置	設置の際は、電源コードや電源プラグにほこりや水分が付着しないことを確認してください。また、電源プラグは、奥までしっかり差し込んでグラつかないことを確認してください。 火災・感電の原因になります。
 設置	重量物のため、製品の設置（開梱）や移設時にケガをしないようご注意ください。 ➡ 本体の質量 約 11.0 kg
 操作運転	本製品はヒーター機能を持った加熱商品です。未然の事故防止のため、ご使用の際は必ず無人運転を避けてください。
	本製品は、局所高温実験を行うため理化学向けに開発された製品であり、連続運転を想定していません。長時間運転・放置運転は、お控えください。
	専門知識を有する人の指示のもとに本製品をご使用ください。
	運転中は試料の状態を常時把握して、細心の注意を払ってください。
	雷が鳴り始めたら、すぐに電源を切ってください。 感電の原因になります。
 操作運転	電源コードを傷つけないでください。 〔 ・加工する ・無理に曲げる ・引っ張る ・束ねる ・ねじる 〕 〔 ・重いものを載せる ・熱器具に近づける ・挟み込む 〕 電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。
	試料の発火点を超える加熱を行わないでください。 火災の原因になります。

 注意 製品を安全に正しくお使いいただくために 必ず、お守りください	
 操作運転	プレートを下や横に向けて使用しないでください。 火災・ケガ・火傷の原因になります。
 操作運転	小さいお子様が触れたり、使用したりしないようにご注意ください。 運転中や運転直後、試料や容器に触れるときはご注意ください。 設定温度によっては、試料や容器が高温になり、火傷を負うおそれがあります。 設定温度にご注意ください。 樹脂等の可燃物を加熱した場合、設定温度によっては、融解して、発火するおそれがあります。
 お手入れ と点検	お手入れの際は、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、使用直後は高温になる部分があります。清掃、お手入れは、温度が常温に戻った後に行ってください。 電源プラグの刃、および刃の取り付け面にホコリが付着していないか定期的に確認して、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。 ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
 保管	長期間使用しない場合には、絶縁劣化による感電や漏電火災が発生するおそれがあるため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

<設置組立時のお願い>

 お願い 製品の性能に影響をおよぼしたり、故障の原因になります 下記の項目を必ず、お守りいただきますようお願いします
製品の開口部は放熱のために塞がないでください。加熱、蓄熱による故障の原因になります。
屋内の水平で安定した場所に設置してください。
ホコリが少なく、風通しの良い場所に設置してください。また、使用時は室内の換気を定期的に実施してください。
製品の性能を維持するため、製品の左右、背面は約100cm、天井からは約100cm以上のスペースを確保してください。
次のような場所への設置はしないでください。 ・結露するところ ・水滴がかかるところ ・暖房器具の熱が直接あたるところ ・不安定なところ ・直射日光があたるところ ・振動の多いところ ・湿気の多いところ ・火気、暖房器具の近く ・屋外 ・傾斜地

<使用上のお願い>

 お願い	製品の性能に影響をおよぼしたり、故障の原因になります 下記の項目を必ず、お守りいただきますようお願いします
使用周囲温度は5～35℃です。この範囲以外での運転は行わないでください。	
製品を他装置へ組み込まないでください。 ➡ 他の製品へ組み込んだり、本製品へ別の製品を組み込んだりした場合、安全性や性能、セット機器破損等の保証はできません。	
製品を落下させたり、倒したり、強い衝撃を加えたりしないでください。	
試料を入れる容器を選定するときは、容量や耐熱性能などを十分ご検討ください。また、製品のプレートにキズつけるような素材の容器は使用しないでください。	
プレートにヒビ、キズ、腐食等の異常がある場合は、使用しないでください。	
プレートの上に直接試料を載せて加熱しないでください。プレート損傷や劣化の原因になります。	
試料はスペースを空け、分散させてプレートに置いてください。試料が多すぎたり、偏って置くと、温度制御が乱れる原因になります。	
耐荷重を超える試料をプレートに載せないでください。 ➡ 耐荷重 約15kg（プレート面積80％への分布荷重）	
腐食性の試料を扱うときは、ご注意ください。	
プレート表面や本体をアルミ箔などで覆わないでください。放熱が妨げられて、異常加熱による故障の原因になります。	
運転中は本製品から目を離さないでください。試料を入れた容器内の液体（溶液）が蒸発して、空焚きにならないようご注意ください。	
実験中に飛び散った試料や薬液などは、すぐに拭き取ってください。本体内部に液体が浸入したときは、使用を中止して、修理窓口へ点検をご依頼ください。	
本製品は防水仕様ではありません。装置に水などをかけないでください。	
定期的に換気を行ってください。有毒ガス発生のおそれがある場合、ドラフトなど適切な換気設備を使用してください。腐食性雰囲気下など、ドラフト内での使用は製品の耐久性を著しく損なうことがありますのでご注意ください。	
運転終了後は、製品に付着した試料や薬品を必ず拭き取ってください。プレート面に汚れが付着すると、設定した温度まで昇温できない場合があります。	
運転終了後は、電源スイッチを切った後、電源コードをコンセントから抜いてください。	

●ヒーター部品について

ヒーターは、一定期間使用後に交換が必要な消耗部品です。ヒーターの劣化が原因で正常に動作しなくなった場合は、販売店、または修理窓口へ連絡してください。

なお、交換周期は周囲温度、使用頻度など、諸条件によって異なります。

ヒーターの交換は、保証期間内であっても、保証対象外とさせていただきます。

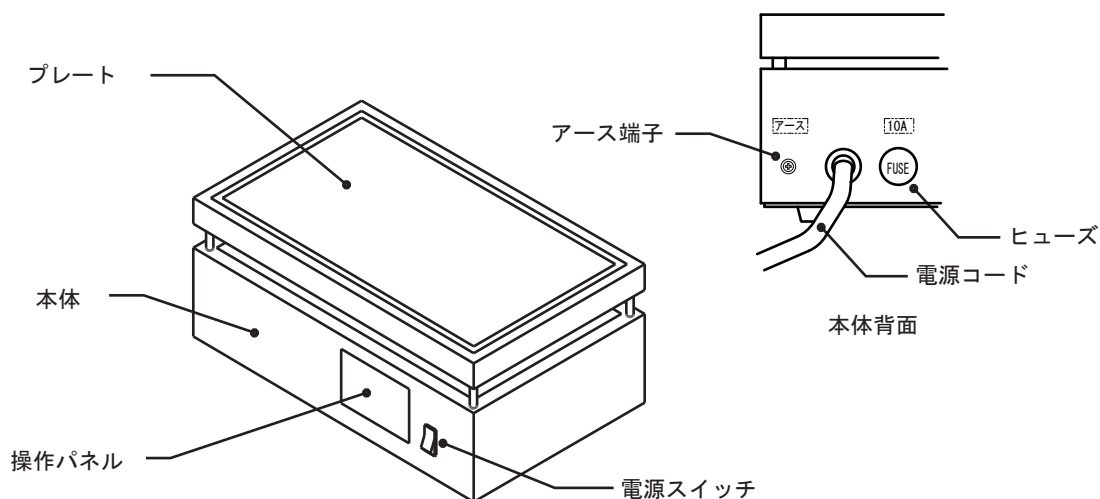
ご使用の前に

<製品概要>

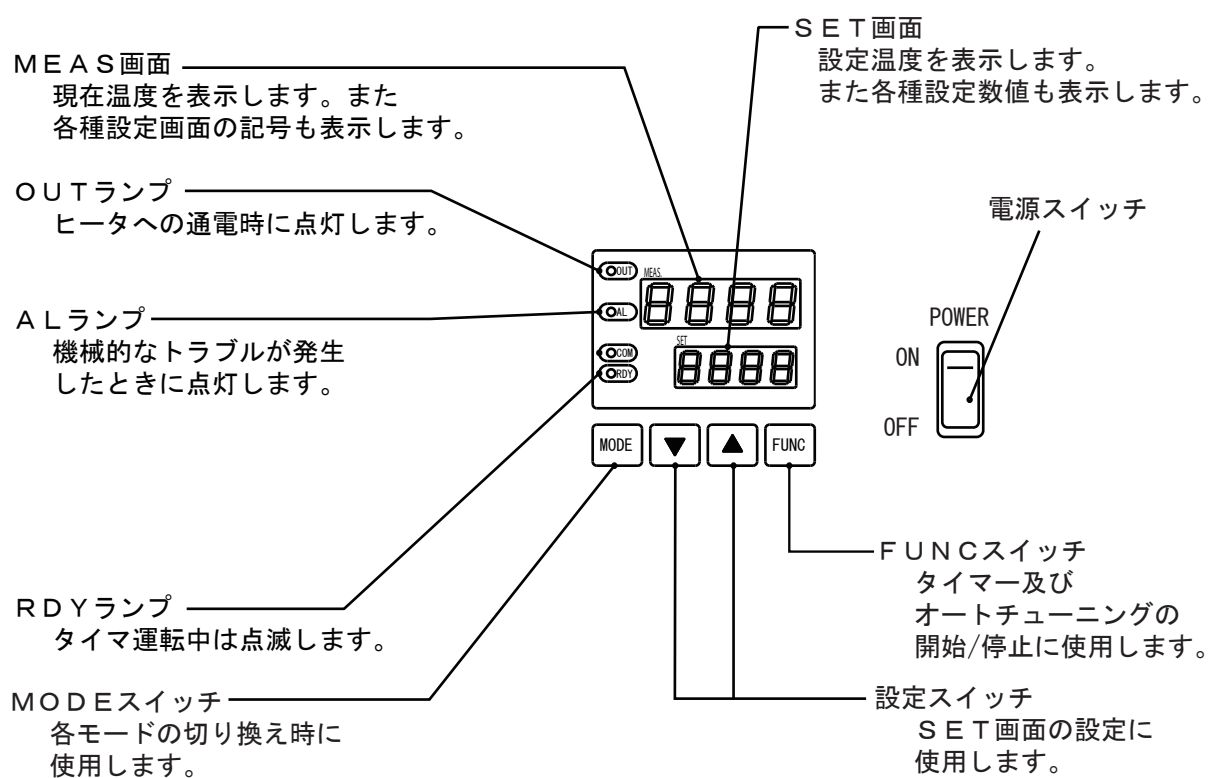
昇温特性にすぐれ、PID方式による温度管理が可能です。プレート周囲が熱くなりにくい構造です。

<各部の名称とはたらき>

■外観



■操作パネル部



使いかた

<操作方法>

◆運転準備

前述の「安全上のご注意」、「設置組立時のお願い」をよくお読みになり、それらの条件を満たすところに設置してください。

電源スイッチが「OFF」位置になっていることを確認して、電源プラグを三芯接地付きコンセントに接続してください。

解説

容器の選定について

装置の温度設定値を考慮して、容器の耐熱性能や容量をご検討ください。

注意

汚れ防止目的のため、プレート表面や本体をアルミ箔などで覆わないでください。放熱が妨げられて、異常加熱による故障の原因になります。

◆操作方法

特記事項

●周囲温度や熱伝導の影響により、設定温度とプレート部の温度に差異が生じることがあります。正確な温度コントロールが必要な場合は、プレートに載せた加熱物の温度を測定しながら、操作パネルで微調整を行ってください。



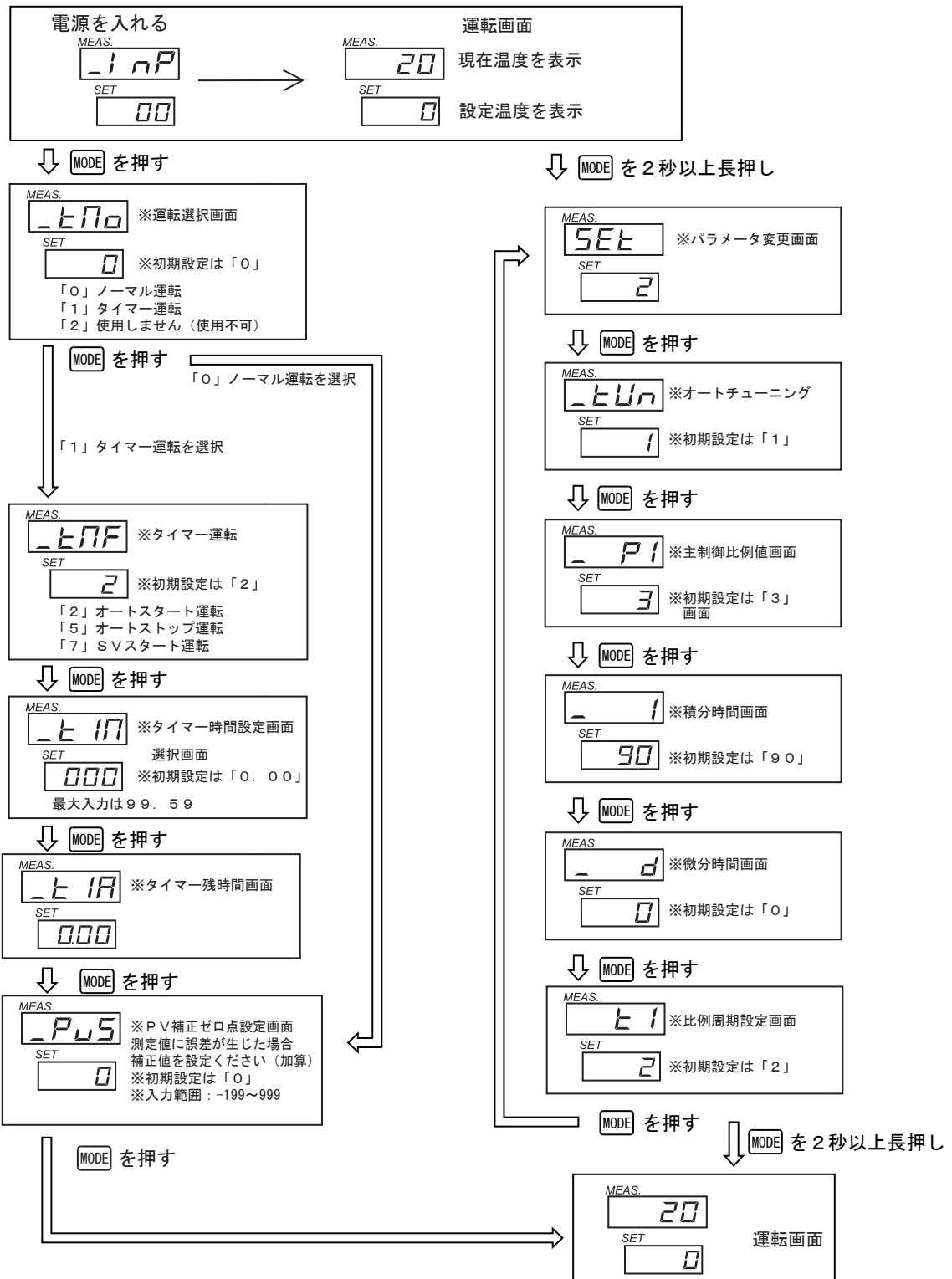
火傷を負わないようご注意ください。

- ・運転中や運転直後は、高温になる部分があります。プレートなど、本製品の外郭に手を触れないでください。
- ・試料が急激に沸とうすることがあります。

次頁へ続く

■操作フロー

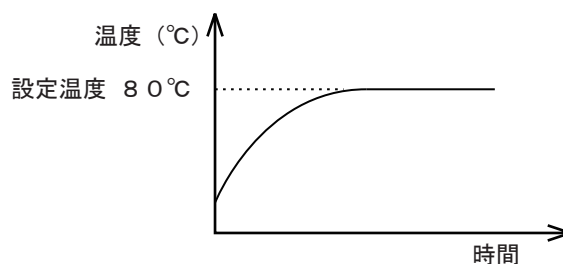
- **MODE** スイッチ操作による画面の切り替わりを表しています。



■ ノーマル運転の方法

- 設定温度に到達後、その温度を保持します。

例) 設定温度 80℃にて運転する場合。



1 設定温度の入力。

- キーを押してSET画面を80にしてください。
- を押す。

MEAS. 現在温度

SET 設定温度

2 運転方法の選択

- キーを押してSET画面を0にしてください。

MEAS. 運転選択画面

SET 初期設定は「0」

3 運転開始

- OUTランプが点灯（点滅）し、すぐに温調が開始されます。

4 運転終了

- 電源スイッチを操作して電源を切ってください。



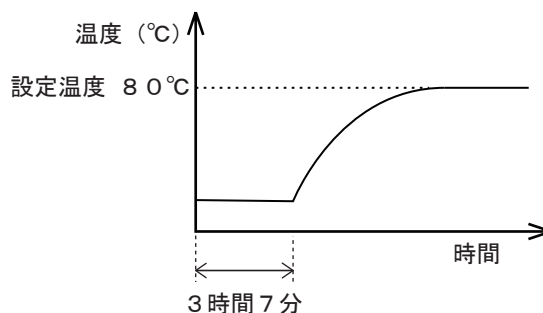
温度過昇防止機能について

- ・ 本製品はPV（現在温度）がSV（設定温度）+20℃以上になったときにヒーター出力を停止（運転停止）し、操作パネルのALランプが点灯します。
すぐに電源をOFFにし、異常がないか確認をしてください。
復帰をする際には、温度が下がったことを確認の上、再度電源を投入してください。

■オートスタート運転の方法

- 設定時間を経過すると温調を開始します。

例) 3時間7分後に80℃にて
運転する場合。



1 設定温度の入力

- キーを押してSET画面を80にしてください。
- を押す。

MEAS. 20 現在温度
SET 80 設定温度

2 運転方法の選択

- キーを押してSET画面を1にしてください。
- を押す。

MEAS. -tNo 運転選択画面
SET 1 初期設定は「0」

3 タイマーの種類選択

- キーを押してSET画面を2にしてください。
- を押す。

MEAS. -tNF ※タイマー運転選択画面
SET 2 ※初期設定は「2」

4 設定時間の入力

- キーを押してSET画面を3.07にしてください。
- を2回押す。

MEAS. -t 17 ※タイマー時間設定画面
SET 3.07 ※初期設定は「0.00」
最大入力は99.59

5 運転開始

- を押す。
- RDYランプが点滅します。
- 設定時間（3時間7分後）にOUTランプが点灯（点滅）し温調を開始します。

MEAS. 20 現在温度
SET 80 設定温度

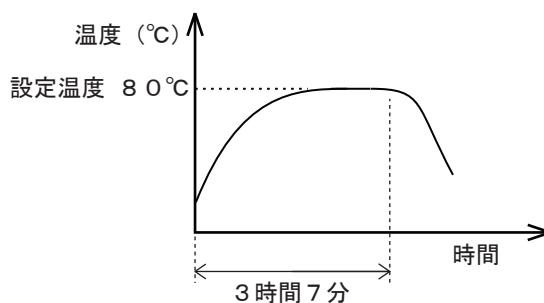
6 運転終了

- 電源スイッチを操作して電源を切ってください。

■オートストップ運転の方法

- 設定時間を経過すると温調を停止します。

例) 80℃で温調を開始、3時間7分後に温調を停止する。



1 設定温度の入力

- キーを押してSET画面を80にしてください。
- を押す。

MEAS. 現在温度
SET 設定温度

2 運転方法の選択

- キーを押してSET画面を1にしてください。
- を押す。

MEAS. 運転選択画面
SET 初期設定は「0」

3 タイマーの種類選択

- キーを押してSET画面を5にしてください。
- を押す。

MEAS. ※タイマー運転選択画面
SET ※初期設定は「2」

4 設定時間の入力

- キーを押してSET画面を3.07にしてください。
- を2回押す。

MEAS. ※タイマー時間設定画面
SET ※初期設定は「0.00」
最大入力: 99.59

5 運転

- を押すとRDYランプが点滅し、タイマーカウントを開始します。
- タイマーカウント中に再度 を押すと温調を停止し（タイマーもリセット）、さらにもう一度 を押すと運転を開始します。

MEAS. 現在温度
SET 設定温度

6 運転終了（設定時間後）

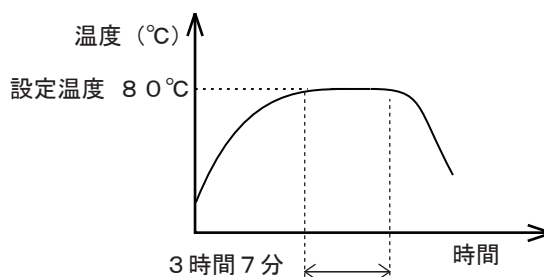
- RDYランプが点灯します。
- OUTランプが消灯し、温調を停止します。
- 電源スイッチを操作して電源を切ってください。

※この状態で再度 を押すと最初（タイマーカウント）から運転が開始されます。

■SVスタート運転の方法

- 設定温度に到達するとタイマーのカウンタを開始し、設定時間になると温調を停止します。

例) 80℃で3時間7分間温調する。



1 設定温度の入力

- キーを押してSET画面を80にしてください。
- を押す。

MEAS. 現在温度
SET 設定温度

2 運転方法の選択

- キーを押してSET画面を1にしてください。
- を押す。

MEAS. 運転選択画面
SET 初期設定は「0」

3 タイマーの種類選択

- キーを押してSET画面を7にしてください。
- を押す。

MEAS. ※タイマー運転選択画面
SET ※初期設定は「2」

4 設定時間の入力

- キーを押してSET画面を3.07にしてください。
- を2回押す。

MEAS. ※タイマー時間設定画面
SET ※初期設定は「0.00」
最大入力: 99.59

5 運転

- 設定温度に達するとタイマーカウンタが開始されRDYランプが点滅します。
- タイマーカウンタ中に を押すと温調を停止し（タイマーもリセット）、さらにもう一度 を押すと温調を開始し、設定温度到達後タイマーカウンタが開始されます。

MEAS. 現在温度
SET 設定温度

6 運転終了（設定時間後）

- RDYランプが点灯します。
- OUTランプが消灯し、温調を停止します。
- 電源スイッチを操作して電源を切ってください。

※この状態で再度 を押すと最初（温調及び、タイマーカウンタ）から運転が開始されます。ただし、現在温度が設定温度より高い場合は正常に動作しない事があります。ご注意ください。

■オートチューニングについて

- この製品の温度制御はPID制御を使用しています。その温度制御を行うPID定数は制御対象の特性、設定温度により変化致します。従って、工場出荷時のPID定数では条件によって制御が乱れる場合があります。（特に80℃以下）その場合は使用条件に合った定数を再設定する必要がありますが、本器はそれをオートチューニング機能で自動的に再設定する事が可能です。

例) 50℃設定でオートチューニングを行う。

-
- 1 設定温度の入力
- キーを押してSET画面を50にしてください。
 - を2秒以上長押し。
- MEAS.

現在温度

SET

設定温度
-
- 2 パラメータ変更画面
- を押す。
- MEAS.

パラメータ変更画面

SET
-
- 3 チューニング種類画面
- キーを押してSET画面を1にしてください。
 - を押す。
- MEAS.

運転選択画面

SET

初期設定は「1」
-
- 4 オートチューニング
- OUTランプが点灯（消灯）し、SET画面に設定温度と *At* が交互に表示されます。
- MEAS.

SET

← 交互に表示 →

MEAS.

SET
- ※この状態で再度 を押すとオートチューニングが中断されます。
-
- 5 オートチューニング終了
- しばらくすると最初の運転画面に戻り、そのまま温度調節を行います。
- MEAS.

現在温度

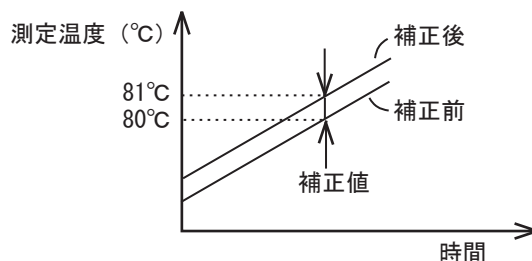
SET

設定温度

■ P V 補正ゼロ点設定について

- 測定値に誤差が生じた場合、補正値を設定ください。（加算）

「P V 補正ゼロ点設定」の設定値分だけ入力補正されます。
補正値を1℃とすると、補正前の現在値が80℃のとき、補正後の温度は81℃となります。



例) 測定温度 80℃の時、センサーを
1℃補正します。

MEAS.	80	現在温度
SET	80	設定温度

1 操作方法

- **MODE** キーを数回押し、P V 補正ゼロ点設定画面にします。

- **▼** **▲** キーを押してSET
画面を1にしてください。

- **MODE** を1回押す。

MEAS.	-P.5	P V 補正ゼロ点設定画面
SET	1	初期設定は「0」

2 運転画面

- 運転画面に戻ります。
現在値は補正前に比べて1℃大きい値になります。

MEAS.	81	現在温度
SET	80	設定温度

◆パラメータ変更

 **お願い**



出荷時のパラメータ（初期設定）はむやみに変更しないでください。
変更によって不具合が生じた時には初期設定値に戻して再度テストしてください。

電源を入れる

MEAS.
- 1 nP
SET
00



MEAS.
20
SET
0

現在温度を表示

運転画面

設定温度を表示

↓ **MODE** を 2 秒以上長押し ↑

MEAS.
SEt ※パラメータ変更画面
SET
2

●   キーを押して SET 画面を「2」にしてください。

↓ **MODE** を押す

MEAS.
- tUn ※オートチューニング画面
SET
1 ※初期設定は「1」

↓ **MODE** を押す

MEAS.
- P1 ※主制御比例値画面
SET
3.0 ※初期設定は「3.0」

↓ **MODE** を押す

MEAS.
- 1 ※積分時間画面
SET
90 ※初期設定は「90」

↓ **MODE** を押す

MEAS.
- d ※微分時間画面
SET
0 ※初期設定は「0」

↓ **MODE** を押す

MEAS.
- t1 ※比例周期設定画面
SET
2 ※初期設定は「2」

MODE を押す

お手入れと修理点検

＜お手入れ・メンテナンス＞

本製品の清掃方法について説明します。



お手入れの際は、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、使用直後は、高温になる部分があります。清掃、お手入れは、温度が常温に戻った後に行ってください。

火災・感電・火傷の原因になります。

- 拭き取りは、水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。また、取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、乾いた布で拭き取ってください。
- 外装や内部に直接水をかけたり、異物を入れたりしないよう注意してください。また、クレンザー（磨き粉）、シンナー、石油、灯油、酸、アルカリ性洗剤、およびこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

＜修理点検＞



修理作業者の健康を守るため、本製品や部品を修理依頼される際、下記①、②項に該当する場合は、必ず適切な除染を行っていただき、安全に作業できる状態で修理をご依頼いただきますようお願いいたします。

- ① 本製品や部品の一部が感染性のある危険な物質や放射性物質にさらされたとき
- ② 本製品や部品の一部へ血液その他化学薬品が何らかの形でたまり、人体に危険と判断されるとき

適切な除染処置がされない場合には、修理をお断りさせていただきますことをあらかじめご了承ください。

困ったとき

<トラブルの原因と対処>

正しく動作しないときは、下記を参考に対処してください。

それでも復帰しないときは、販売店、または修理窓口へ連絡してください。

トラブル	原因	対策
設定温度で安定しない	1) 試料をセットしすぎている 2) PID定数が不適切	1) 間隔をあけてセットしてください。 2) オートチューニングを行ってください。
運転ができない	1) 誤った運転選択をしている 2) 誤った操作をしている	1) 運転選択をやり直してください。 2) 設定温度、運転選択、時間設定を確認してください。 ※「◆操作方法」を参照してください。
電源が入らない	1) ヒューズが溶断している 2) 電気が来ていない	1) ヒューズホルダーの蓋を外して内部ヒューズを交換してください。 ヒューズ仕様「AC125V 10A φ6.4x30L」 2) 元電源、コンセントの抜けを確認してください。
ALランプが点灯する	1) プレートの温度が設定値より20℃以上上昇している	1) 電源を切り温度を下げてから再度電源を投入してください。 同様のトラブルが続いて発生する場合は、販売店もしくは、弊社修理窓口までご連絡をお願いします。
Err0 又は Err1 又は Err4 が表示される	1) 温度調節計の故障	1) 電源を再投入後、エラー表示する場合には、修理が必要となります。 修理窓口までご連絡をお願いします。
Err2 が表示される	1) オートチューニングエラー時に表示されます。	1) いずれかのキーを押すと復帰します。 再度エラーが発生する場合には、弊社修理窓口までご連絡をお願いします。

■停電時の復旧について

停電などが原因で電源が落ちた場合は、運転を停止します。その後、停電復旧と同時に操作パネルが点灯して運転が再開※されます。ただし、タイマーカウント中に電源が落ちた場合は、カウント数がリセットされます。※オートスタート運転を行っているときのみ、運転再開時は「FUNCスイッチ」を押してください。

安全のため、停電発生時は電源を切って、復旧に備えていただくことをお勧めします。電源を切ったときは、停電復旧後に設定操作を行って、再稼働してください。

落雷などで停電したときは、過電圧等が内部の制御基板に印加されて、故障する場合があります。停電復旧後、正常に動作しないときは、販売店、または修理窓口へ連絡してください。

製品仕様と保証について

<製品仕様>

品 番	1-4115-11
型 番	EC-1200N
プレート材質	アルミニウム (A5052)
温度指示精度 (周囲温度 23℃±10℃)	指示値の ± (0.3%+1digit) または ±2℃のどちらか大きい方
温度センサー	K 熱電対
設定温度範囲	0 ～ 300℃
制御可能温度範囲	室温+50 ～ 300℃
制御方式	SSR による電圧出力
制御動作	オートチューニング付き PID 制御
消費電力	1kW MAX (抵抗負荷)
電源電圧定格	AC100V 50/60Hz
電源電圧許容範囲	電源電圧の 90 ～ 110%
使用周囲温度	0 ～ 35℃
使用周囲湿度	35～85%RH (結露しないこと)
電源入力方法	3P・アースピン付き
外寸法 (mm)	幅 450 × 奥行 350 × 高さ 133
ヒューズ	AC125V 10A φ6.4x30L

製品の仕様は、改良・改善のために予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

<廃棄方法>

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や各地域の市町村が定める方法に従って廃棄してください。

廃棄時に注意が必要な物質について（代表例）

・アスベスト	不使用
・RCF（リフラクトリーセラミックファイバー）	不使用
・フロン類	不使用
・鉛	不使用（1,000ppm以下）
・PCB（ポリ塩化ビフェニル）	不使用（1,000ppm以下）
・水銀	不使用（1,000ppm以下）
・カドミウム	不使用（100ppm以下）
・六価クロム	不使用（1,000ppm以下）
・PBB（ポリ臭化ビフェニル）	不使用（1,000ppm以下）
・PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）	不使用（1,000ppm以下）

<製品保証>

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に右記保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

品名	ECホットプレート
型式	EC-1200N
機番	
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	様
ご住所	TEL:
取り扱い店名	担当者印
住 所	TEL:

アズワン株式会社

保証規定

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 - ・誤使用、不当な修理・改造による故障。
 - ・本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
 - ・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
 - ・接続している他の機器が原因による故障。
 - ・車両・船舶等での使用による故障。
 - ・消耗部品、付属部品の交換。
 - ・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

◎商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

TEL 0120 - 700 - 875

問い合わせ
専用 URL

<https://help.as-1.co.jp/q>

受付時間：午前9時～午後5時30分
土・日・祝日、および弊社休業日はご利用できません。

◎修理・校正についてのお問い合わせは

修理窓口

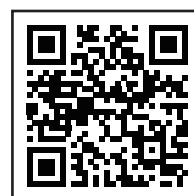
TEL 0120 - 788 - 535

FAX 0120 - 788 - 763

問い合わせ
専用 E-mail

repair@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日、および弊社休業日はご利用できません。



製品に関する最新の情報を弊社ホームページでご案内しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

アズワン株式会社

2022年4月 第8版
Made in Japan